

# WHO ファクトシート

## 青少年期：健康のリスクと解決策

Adolescents: health risks and solutions

2017年5月

### 重要な事実

- ・2015年に推定120万人、毎日3000人以上の青少年期の若者が死亡しており、そのほとんどは予防や治療の可能な原因によるものである。
- ・交通事故死傷が2015年の死亡原因のトップである。青少年期における死亡のその他主要原因は、下気道感染症、自殺、下痢性疾患及び溺死である。
- ・世界全体で、15～19歳の少女1000人当たり49件の出産がある。
- ・成人の全精神疾患の半分は14歳までに発症しているが、ほとんどの場合発見されず治療を受けていない。

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Adolescents: health risks and solutions      ファクトシート原文は [こちら](#)